

9.13 自然とのふれあいの場

9.13.1 調査

(1) 調査内容

工事中の建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事、供用後のごみ処理施設及び付帯施設の存在・稼働による自然とのふれあいの場への影響を予測・評価するために、以下の項目について調査した。

(a) 自然とのふれあいの場の資源状況、周辺環境の状況等

自然とのふれあいの場の分布及び利用範囲、構成要素(自然、利用施設)の内容・特性、背景となる周辺環境の状況を調査した。

(b) 自然とのふれあいの場の利用状況

自然とのふれあいの場の活動のタイプ、活動場所、活動に使用する資源、活動時間帯、活動季節、活動頻度、利用者数、利用方法を調査した。

(c) 自然とのふれあいの場への交通手段の状況

自然とのふれあいの場への主な交通手段、交通手段の経路周辺の環境条件を調査した。

(d) その他の予測・評価に必要な事項

周辺地域の土地利用の状況、交通網の状況について調査した。

(2) 調査方法

(a) 既存資料調査

自然とのふれあいの場の分布、利用状況、自然とのふれあいの場への主な交通手段、周辺地域の土地利用の状況及び交通網の状況については、観光パンフレットや地形図等の資料を整理した。

(b) 現地調査

自然とのふれあいの場の資源状況、周辺環境の状況等及び自然とのふれあいの場の利用状況については、現地踏査及び現地調査により確認し、記録・整理した。

(3) 調査地域・地点

(a) 既存資料調査

調査地域は、計画地周辺 3km 程度の範囲を基本とした。

(b) 現地調査

調査地域は、計画地周辺 3km 程度の範囲を基本とした。

調査地点は、調査地域において自然とのふれあいの場への影響の予測・評価に必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とし、既存資料調査及び現地踏査により調査地域内に分布する本事業の実施に伴い直接または間接的な影響を受ける自然とのふれあいの場となる場所を抽出して調査した。

自然とのふれあいの場の調査地点は、不特定多数の人により利用または活用される施設等の付近として、表 9.13-1 及び図 9.13-1 に示すとおりである。

表 9.13-1 自然とのふれあいの場の調査地点

記号	地点名	計画地敷地境界までの最短距離	計画地からの調査地点の方向	自然とのふれあいの場の概要
A	ポピーハッピースクエア	約 3,050m	北北東	計画地北北東側に位置する畑である。
B	北本市野外活動センター	約 1,500m	東	計画地東側に位置する野外活動センターである。
C	高尾宮岡の景観地	約 1,700m	東	計画地東側に位置する景観地である。
D	高尾さくら公園	約 1,530m	東北東	計画地東北東側に位置する公園である。
E	北本水辺プラザ公園	約 1,280m	東	計画地東側に位置する公園である。
F	さくら堤公園	約 775m	北北西	計画地北北西側に位置する公園である。
G	東部緑地公園	約 5.7 m	南	計画地南側に位置する公園である。
H	北本市子供公園	約 2,250m	南東	計画地南東側に位置する公園である。
I	北本自然観察公園	約 1,750m	東南東	計画地東南東側に位置する公園である。
J	平成の森公園	約 2,940m	南	計画地南側に位置する公園である。
K	石戸蒲ザクラ	約 2,540m	南東	計画地南東側に位置する東光寺境内にある蒲ザクラである。
L	城ヶ谷堤	約 1,700m	南東	計画地南東側に位置する堤である。
M	稲荷塚古墳群	約 1,900m	西南西	計画地西南西側に位置する古墳群である。
N	鳥羽井沼へら鮎釣場	約 1,560m	南	計画地南側に位置する鮎釣場である。
O	さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道	—	—	計画地周辺に位置するサイクリングコースである。
P	川島こども動物自然公園自転車道	—	—	計画地周辺に位置するサイクリングコースである。

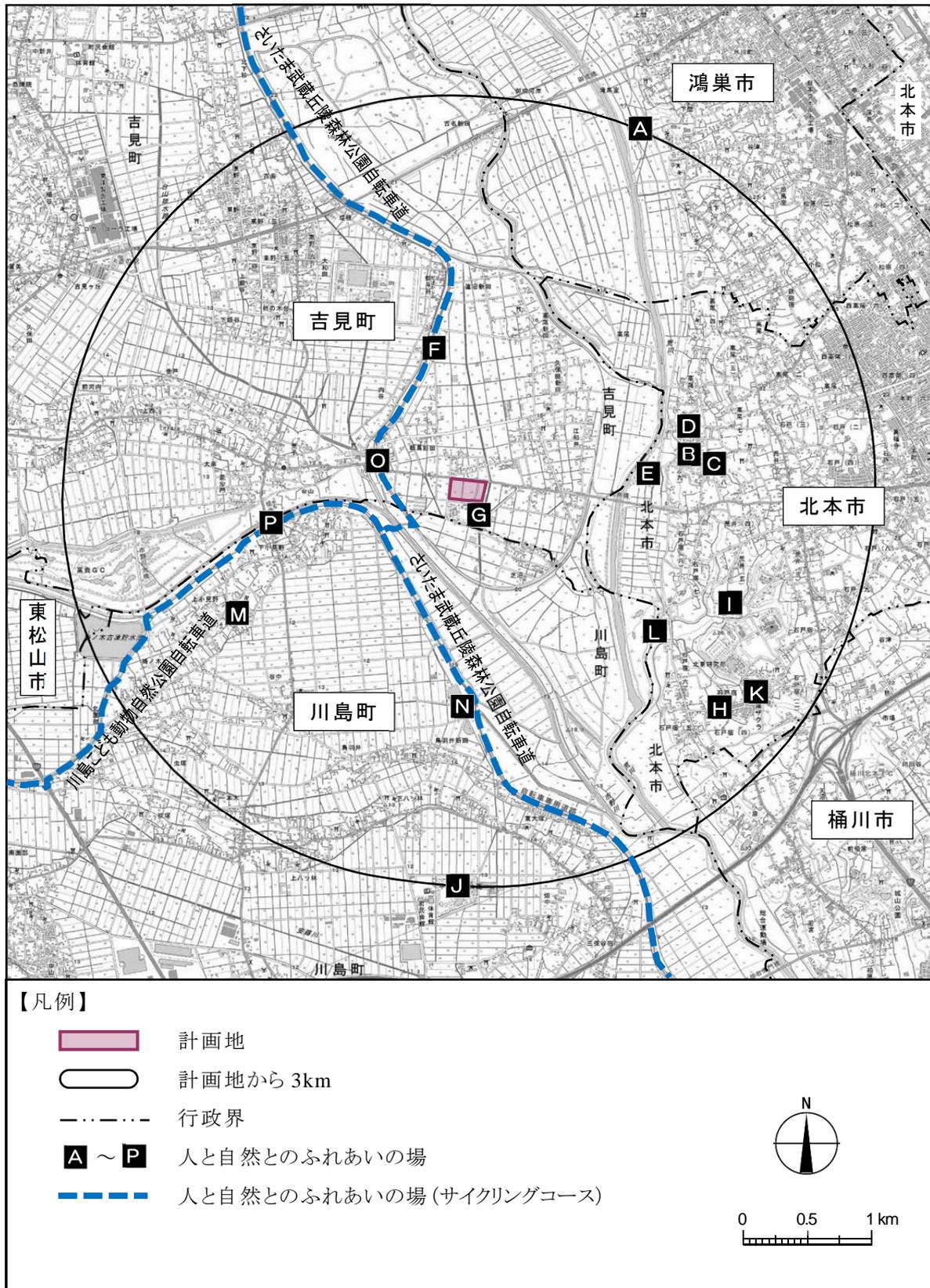


図 9.13-1 自然とのふれあいの場の調査地点

(4) 調査期間・頻度

(a) 既存資料調査

既存資料の調査期間・頻度は、入手可能な最新年とした。

(b) 現地調査

季節変化を把握するため、4季(春季、夏季、秋季、冬季)に各1回とした。

現地調査期間は、表 9.13-2 に示すとおりである。

自然とのふれあいの場の利用状況を把握するため、週末の土曜日に調査を行った。

表 9.13-2 調査期間(現地調査)

調査項目		調査期間
自然との ふれあいの場	資源状況	夏季:平成 29 年 8 月 19 日(土)
	周辺環境の状況	秋季:平成 29 年 11 月 11 日(土)
	利用状況	冬季:平成 30 年 1 月 20 日(土)
	交通手段の状況	春季:平成 30 年 3 月 31 日(土)、5 月 24 日(木)

(5) 調査結果

(a) 自然とのふれあいの場の資源状況、周辺環境の状況等

(ア) 既存資料調査

自然とのふれあいの場の分布及び利用範囲の既存資料調査は、「第 3 章 地域特性、3.2 自然的状況、3.2.6 景観及び人と自然とのふれあいの場の状況」に示すとおりである。また、構成要素(自然、利用施設)の内容・特性、背景となる周辺環境の状況の既存資料調査は、表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

(イ) 現地調査

自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況は、表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

表 9.13-3(1) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 A ポピーハッピースクエア
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>12.5ha の敷地に約 3,000 万本のポピーが栽培されている日本一広い畑である。荒川河川敷へのごみの不法投棄防止と「花のまちこうのす」をアピールすることを目的として整備された。特に春には「ポピー祭り」が開催され、毎年大勢の人々が訪れるポピー畑は荒川の御成橋下に広がり、天気の良い日には富士山を望むことができる。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：12.5ha 利用時間：終日 休日：無し 施設・設備：ポピー畑</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：300 台（ポピーまつり開催時期のみ臨時駐車場有り） 平日は無料、休日は協賛金として 500 円</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：移動（自動車、自転車、徒歩）、景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 高崎線鴻巣駅 バス：JR 高崎線鴻巣駅西口よりバスで 10 分 鴻巣市コミュニティバスフラワー号馬室コース 「給食センター前」バス停下車後、徒歩 3 分 ポピーまつりの土日のみ無料シャトルバス有り 徒歩：JR 高崎線鴻巣駅西口より徒歩 20～30 分（約 2.2km）</p>	
【調査結果】	
<p>< 春季調査 ></p> 	<p>< 夏季調査 ></p> 
<p>< 秋季調査 ></p> 	<p>< 冬季調査 ></p> 

表 9.13-3(2) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 B 北本市野外活動センター
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>野外活動や体験学習などを通して、市民の生涯活動、レクリエーション活動の推進及び健康増進を目的として建設された。平成 30 年 4 月にリニューアルオープンした。野外活動センターと周辺 3 施設(高尾さくら公園、高尾阿弥陀堂ふるさとの森、高尾宮岡の景観地)を一体としたエリアを「まほろばの郷」と呼ぶ。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積:約 2.71ha 利用時間:8:30~22:00 休日:第 4 月曜(祝日の場合は翌日) 施設・設備:芝生広場、展望広場、テントサイト、野外炊事場、体験学習室、多目的ホール、多目的広場、入浴施設、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:56 台、バス 2 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、学生、観光客 利用目的:バーベキュー、テント宿泊、レクリエーション、発表会、会合、陶芸、体験学習など 利用者数:平成 29 年度:約 35,000 人</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より 衛生研究所・荒川荘行きバスで 10 分 「野外活動センター入口」バス停下車後、徒歩 8 分</p>	
【調査結果】	
<p>< 春季調査 ></p> 	<p>< 夏季調査 ></p> 
<p>< 秋季調査 ></p> 	<p>< 冬季調査 ></p> 

表 9.13-3(3) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 C 高尾宮岡の景観地
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>大宮台地の浸食により形成された谷津とそれを取り囲む斜面林からなり、2ヶ所の湧水がある里山景観である。この周辺の縄文時代の遺跡からは、土偶や耳飾りなどが出土した。埼玉の優れた自然を後世に残すため、「緑のトラスト保全地」に指定された。高尾宮岡の景観地と周辺3施設（野外活動センター、高尾さくら公園、高尾阿弥陀堂ふるさとの森）を一体としたエリアを「まほろばの郷」と呼ぶ。平成20年4月に散策路が整備された。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：3.55ha 利用時間：終日 休日：無し 施設・設備：景観地</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：駐車場：56台、バス2台（北本市野外活動センターを利用する。）</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：景観の眺望、写真撮影、散策など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 高崎線北本駅 バス：JR 高崎線北本駅西口より 川越観光自動車 北里大学メディカルセンター・石戸蒲ザクラ入口行きバスで6分 「石戸小学校入口」バス停下車後、徒歩15分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(4) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 D 高尾さくら公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>広々とした芝生地に、全国各地から集められた桜を含め、約 30 種、200 本の桜が植えられている公園である。11 月にコブクザクラ、3 月下旬にエドヒガンが咲き始める。ソメイヨシノやヤマザクラが咲き揃う 4 月上旬頃、毎年さくらまつりが開催される。高尾さくら公園と周辺 3 施設（野外活動センター、高尾阿弥陀堂ふるさとの森、高尾宮岡の景観地）を一体としたエリアを「まほろばの郷」と呼ぶ。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：2.60ha 利用時間：終日 休日：無し 施設・設備：桜、ふるさとさくらの丘、モニュメント広場、自然ふれあいの池、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：140 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：景観の眺望、写真撮影、探勝、休憩など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 高崎線北本駅 バス：JR 高崎線北本駅西口より ①衛生研究所・荒川荘行きバスで 10 分 「野外活動センター入口」バス停下車後、徒歩 5 分 ②道の駅行きバス(吉見町巡回バスけやき号 1 日 4 本)で 3 分 「北本市高尾さくら公園」バス停下車後、徒歩 5 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(5) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 E 北本水辺プラザ公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>北本市荒川地区の荒川河川敷を整備して平成 24 年に整備された公園である。広々とした芝生、江戸時代に荒川舟運で栄えた頃の荒川の流れを再現した旧流路体験水路、多目的広場、散策路がある。トイレや水飲み場も整備されているため、幅広い世代の人がのんびり過ごすのに適している。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積:4.13ha 利用時間:4～9月 8:00～18:00 10～3月 8:00～17:00 休日:第4月曜(祝日の場合は翌日)、12月28日～翌年1月3日 施設・設備:多目的広場、園路、芝生スロープ、旧流路体験水路、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:70台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民 利用目的:景観の眺望、休憩、運動、散策など</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より 衛生研究所・荒川荘行きバスで 10分 「野外活動センター入口」バス停下車後、徒歩 5分</p>	
【調査結果】	
<春季調査>	<夏季調査>
	
<秋季調査>	<冬季調査>
	

表 9.13-3(6) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 F さくら堤公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>ふるさと歩道の設置とともに植えられた約 1.8km の桜堤である。秋ヶ瀬公園(さいたま市)と森林公園(滑川町)を結ぶサイクリングコースが並走している。春には桜のトンネルができあがり、その周りには菜の花が咲く。</p> <p>〔資源状況〕 距離:1.80km 利用時間:終日 休日:無し 施設・設備:桜堤、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:100 台(町営駐車場)</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:移動(自転車、徒歩)、景観の眺望、写真撮影、探勝など</p> <p>〔交通手段〕 電車:東武東上線川越駅 バス:東武東上線川越駅東口より 東武バス 鴻巣免許センター行きバスで 40 分 「荒子」バス停下車後、徒歩 15 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(7) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 G 東部緑地公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>9H で 423m のゴルフが無料でできるパークゴルフコースや、ゲートボールが 4 面分できるグラウンド、野球・ソフトボールができるグラウンドが整備されている公園である。吉見町で行われるパークゴルフ大会やゲートボール大会などの開催場所としても利用されている。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：2.20ha 利用時間：8:30～17:00 休日：月曜 施設・設備：パークゴルフコース、グラウンド、野球場、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：75 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民 利用目的：グラウンドゴルフ、ゲートボール、野球、休憩、運動など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 高崎線北本駅 バス：JR 高崎線北本駅西口より 衛生研究所・荒川荘行きバスで 18 分 「荒川荘」バス停下車後、徒歩 2 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 > 	< 夏季調査 > 
< 秋季調査 > 	< 冬季調査 > 

表 9.13-3(8) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 H 北本市子供公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>緑豊かな自然の中に遊具、ふわふわドーム、ローラー滑り台など、子供のことを考えて整備された公園である。4～9月には小さな滝や川、じゃぶじゃぶ池などで水遊びができる。動物舎があり、クジャクやアヒル、サル、ウサギ、リスなどを見ることができる。児童館が併設されており、雨の日や赤ちゃんがいる方でも過ごしやすい。園内にはソメイヨシノが植えられている。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積:2.84ha 利用時間:4～9月 9:00～17:30 10～3月 9:00～16:30 休日:第4月曜(祝日の場合は翌日)、12月26日～翌年1月4日 施設・設備:遊具、ふわふわドーム、ローラー滑り台、せせらぎ、野外ステージ、サイクリングロード、動物舎、児童館、図書室、トイレ、管理事務所、売店(土日祝、春休み期間、夏休み期間のみの営業)</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:80台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:休憩、運動など</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より 石戸蒲ザクラ入口行きバスで15分 「石戸蒲ザクラ入口」バス停下車後、徒歩4分</p>	
【調査結果】	
<春季調査> 	<夏季調査> 
<秋季調査> 	<冬季調査> 

表 9.13-3(10) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 J 平成の森公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>個性豊かで魅力ある「ふるさと文化の香るまち」の実現のため、町が宣言している「スポーツ都市」や「生涯学習推進のまち」の趣旨に沿った、だれもが憩える空間（レクリエーションの拠点）として、環境づくりにも配慮して整備された公園である。川島町のほぼ中央にあり、四方を川に囲まれた川島町をイメージして作られている。昭和 63 年に国が提唱した「ふるさと創生事業」の一環として、広く住民からアイデアを募集した結果、公共施設の集中しているコミュニティセンター周辺と一体化した公園を建設することに決まった。平成元年に計画が決まったことから「平成の森」と名付けられ、平成 8 年にオープンした。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：8.38ha 利用時間：8:30～21:00 休日：無し 施設・設備：多目的広場、記念樹林、ちびっこ広場、出会いの広場、水と時の広場、芝生広場、丘の家、アスレチックコーナー、修景池・古代ハス、ショウブ園、バラの小径、ランニングコース、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：170 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 川越線川越駅 バス：JR 川越線川越駅東口より 東武バスウエスト鴻巣免許センター行きバスで 22 分 「川島農協前」バス停下車後、徒歩 20 分</p>	
<p>【調査結果】</p>	
<p>< 春季調査 ></p> 	<p>< 夏季調査 ></p> 
<p>< 秋季調査 ></p> 	<p>< 冬季調査 ></p> 

表 9.13-3(11) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 K 石戸蒲ザクラ
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>埼玉県北本市石戸宿にある東光寺の境内にて生育している桜である。樹齢 800 年といわれ、日本五大桜として大正 11 年(1922 年)10 月 12 日に国の指定を受けた天然記念物である。樹種は和名で「カバザクラ」という世界でただ 1 本の品種で、エドヒガンとヤマザクラの自然雑種と考えられており、毎年 4 月 10 日前後に白く可憐な花を咲かせる。</p> <p>〔資源状況〕 樹高:約 12m 利用時間:終日 休日:無し 施設・設備:蒲桜、東光寺</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:120 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より 北里大学メディカルセンター行きバスで 15 分 「自然観察公園前」バス停下車後、徒歩 5 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(12) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 L 城ヶ谷堤
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>江戸時代に付近の田畑を水害から守るために築かれた。現在は約 60 本のソメイヨシノがあり、毎年 4 月上旬に桜のトンネルを作る。</p> <p>〔資源状況〕 距離：約 150m 利用時間：終日 休日：無し 施設・設備：桜堤、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：100 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 高崎線北本駅 バス：JR 高崎線北本駅西口より 北里大学メディカルセンター行きバスで 15 分 「自然観察公園前」バス停下車後、徒歩 15 分</p>	
<p>【調査結果】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>< 春季調査 ></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>< 夏季調査 ></p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>< 秋季調査 ></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>< 冬季調査 ></p>  </div> </div>	

表 9.13-3(13) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 M 稲荷塚古墳群
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>埼玉県川島町にある古墳群であり、市野川の自然堤防上、下小見野地区に形成された。かつては十数基の古墳が所在したと伝えられている。現在は稲荷塚古墳のみが現存し、稲荷塚古墳も墳丘の3分の2が削平されている。昭和44年(1969年)10月1日、埼玉県選定重要遺跡に指定された。</p> <p>〔資源状況〕 利用時間:終日 休日:無し 施設・設備:古墳</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:無し</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 車:首都圏中央連絡自動車道川島ICから約20分</p>	
【調査結果】	
<春季調査> 	<夏季調査> 
<秋季調査> 	<冬季調査> 

表 9.13-3(14) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 N 鳥羽井沼へら鮎釣場
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>鳥羽井沼自然公園内にある鮎釣場である。「自然公園の池」は全席に釣り台が整備されており、手軽にへらブナ釣りが楽しめる。釣れるへらブナの型は 20～27cm 前後が中心である。すぐ隣に「管理釣り場の鳥羽井沼」もあり、毎年秋から冬場に大型の新べらを放流しているため良型のへらが多く、例会等の開催にも向いている。</p> <p>〔資源状況〕 水深:「自然公園の池」 1.5～3m 「管理釣り場の鳥羽井沼」 2～3m 利用時間:4～9月 5:00～18:00 10～3月 6:00～17:00 休日:無し 施設・設備:鮎釣場、売店、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:150 台以上</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民 利用目的:鮎釣など 利用料金:「自然公園の池」 大人 800 円、子供 500 円 「管理釣り場の鳥羽井沼」 大人 2,000 円、中学生以下割引料金あり</p> <p>〔交通手段〕 車:首都圏中央連絡自動車道川島 IC から約 10 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(15) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 O さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
[資源状況] 距離:45.6km 利用時間:終日 休日:無し 施設・設備:サイクリングロード [利用状況] 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:移動(自転車、徒歩)、景観の眺望、写真撮影、探勝など	
【調査結果】	
<春季調査> 	<夏季調査> 
<秋季調査> 	<冬季調査> 

表 9.13-3(16) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 P 川島こども動物自然公園自転車道
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>〔資源状況〕 距離：12.8km 利用時間：終日 休日：無し 施設・設備：サイクリングロード</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：移動（自転車、徒歩）、景観の眺望、写真撮影、探勝など</p>	
<p>【調査結果】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><春季調査></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><夏季調査></p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p><秋季調査></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><冬季調査></p>  </div> </div>	